

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	光明第七こども園
活動日時	2025.7.1
クラス（年齢）	道組（5歳児）
年間テーマ	自然

1. 活動テーマ

《テーマ》

コロコロ坂道をつくろう！第1弾

《テーマの設定理由》

「みんなのもり」を発展させていくために行ってきた子ども達の話し合いの中で、新しい木の遊具があるとみんなも遊べるという意見があり、どのようなものがあるかとの問いかけに更に話し合いを深めた。結果、小さい子も遊べるドングリなどの木の実を転がせられる遊具と決まったことから、材木の切り方、道具の使い方、転がして遊ぶための適切な傾斜の角度などについても探求してきた。今回はその知識や技術を使い、第1弾として取り組む。

2. 活動スケジュール

道組の主活動として行う。気温を鑑みて1階ホールに準備する。木をサイズで測り→切る→色を塗るまでの工程を行う。

3. 探求活動の実践

《活動の内容》（活動のために準備した素材や道具、環境の設定）

木材、ノコギリ、ペンキ、ハケ、シート、エプロン、ビニール手袋、テープル

《活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り》

保育者と一緒に基準となる木に鉛筆で線を引きノコギリで切る→ヤスリをかける。

Mさん：「ノコギリひとりでやってみたい！」

保育者：（いつでも手を出せる距離で見守りながら）「じょうずだね！」

Fさん：「やすりでこするとすべすべするね」

Aさん：「あかちゃんがさわってもだいじょうぶだね」

木の傾斜を確かめているグループ

Hくん：「たかいとすびーどがでるね」

Gくん：「はやすぎなんじゃない？」

Rくん：「これくらいじゃない？」

Hくん：「おお！いいね！」

塗装のグループ

保育者：「色決まった？」

Aさん：「こっちはきいろにする」

Nさん：「ペンきぬるとじょうぶになるんだって」

保育者：「よく知ってるね〜」



4. 振り返り

《振り返りにより得た保育者の気づき》

これまで何度かノコギリで木を切ったり、ヤスリをかけたりする活動を続けてきたこともあり、子どもたちは道具の扱いにも手慣れた様子で取り組んでいました。また、木の実がうまく転がるにはどのくらいの傾斜がよいかを話し合いながら作る姿からは、子どもたちなりの探究心の芽生えも感じられました。たとえば、「もっと坂を急にしたら速くなるかな？」「こっちにカーブをつけたらどうなるかな？」と、試行錯誤しながら角度を変えてみたり、何度も転がして確かめたりする姿が見られました。さらに、「塗装すると丈夫になるんだよ」といった会話が聞かれ、木についての知識や関心も高まっていることがうかがえました。